

2014年10月29日

株式会社 富士経済
 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町
 12-5 小伝馬町YSビル
 TEL.03-3664-5811 FAX.03-3661-0165
<http://www.group.fuji-keizai.co.jp/>
<https://www.fuji-keizai.co.jp/>
 広報部 03-3664-5697

国内の外食産業市場14分野131業態を総括

—市場成長率上位業態(2014年見込)—

1位 ファストフード宅配は前年比25%増、2位 とんかつ・かつ丼とクイックパスタ・ピザは同19%増
 —上位チェーンによる出店強化で市場拡大

—外食産業市場—

2014年は前年比0.2%増の32兆4,029億円の見込

—2012年、2013年に続き3年連続の増加

総合マーケティングビジネスの株式会社富士経済(東京都中央区日本橋小伝馬町 社長 清口 正夫 03-3664-5811)は、2014年6月～8月にかけて国内の外食産業市場14分野131業態の総合分析、外食企業40社や海外の外食産業の事例研究、企業売上高ランキングや業態別成長性等の集計分析、注目成長市場を解説し、その結果を報告書「外食産業マーケティング便覧2014 No. 3」にまとめた。

■市場成長率トップ10業態 (2014年見込)

| 順位 | 業態 | 分野 | (2014/2013年) |
|-----|-----------------|-----------------|--------------|
| 1位 | ファストフード宅配(FF宅配) | ホームデリバリー・ケータリング | 125% |
| 2位 | とんかつ・かつ丼 | ファストフード | 119% |
| 2位 | クイックパスタ・ピザ | ファストフード | 119% |
| 4位 | オイスターバー | 西洋料理 | 113% |
| 5位 | 天丼 | ファストフード | 112% |
| 6位 | サンドイッチ | ファストフード | 109% |
| 7位 | 定食チェーン | ファストフード | 107% |
| 7位 | 病者・高齢者食宅配 | ホームデリバリー・ケータリング | 107% |
| 7位 | ステーキ | ファストフード | 107% |
| 10位 | ジューススタンド | 喫茶 | 106% |

外食産業131業態のうち、2014年に拡大が見込まれるのは66業態であり、2013年の67業態をやや下回るとみられる。

FF宅配は、上位FFチェーンがドライブスルーやテイクアウトとともに宅配への注力度を高めていることや、2013年に続きさらに宅配を導入する店舗を増やしていることから、2014年は前年比25%増が見込まれる。

とんかつ・かつ丼は、上位チェーンによる出店強化に加え、テイクアウトに注力しており、2014年も同2桁増が見込まれる。

クイックパスタ・ピザは、短時間で本格的なメニューを提供できるピザ窯やピザオーブンが開発されたことで、2014年もワンコインピザの上位チェーンが大幅な出店を計画しており、市場全体を押し上げると見込まれる。

<調査結果の概要>

■外食産業市場

| 2013年 | 2014年見込 | 前年比 |
|------------|------------|--------|
| 32兆3,300億円 | 32兆4,029億円 | 100.2% |

2013年の外食産業市場は32兆3,300億円と僅かながらプラスとなった。分野別では、全14分野のうち、

6分野（ファストフード、テイクアウト、ホームデリバリー・ケータリング、ファミリーレストラン、喫茶、西洋料理）が前年比プラスとなった。そのうち、最もプラス幅が大きかったのはテイクアウトであり、その要因は、CVSデリカ、量販店デリカの大幅な拡大による。特にCVSデリカは、CVSが社会インフラとしての重要性が見直され、高齢者や女性の利用が増えたことや、参入各社がカウンターコーヒーへの注力度を高めたことに加え、カウンタースナックなどのついで買い効果で拡大した。

次いでプラス幅が大きい分野はファストフードであった。業態別ではクイックパスタ・ピザ、とんかつ・かつ丼、サンドイッチが拡大した。特にクイックパスタ・ピザは、ワンコインピザチェーンの台頭が拡大要因となった。

3番目は、西洋料理となった。シーフードレストランに含まれるオイスターバーが急速に出店数を増やし拡大したことで、市場をけん引した。

2014年の外食産業市場は、前年比0.2%増の32兆4,029億円、8分野（ファストフード、テイクアウト、ホームデリバリー・ケータリング、交通機関、ファミリーレストラン、喫茶、西洋料理、給食）が前年比プラスとなる見込みである。海外の外食産業は東南アジアを始めとして、高い成長率が期待される国が多く、海外への展開を積極的に進める企業も増加している。

<注目成長市場>

◆フローズンヨーグルト

| 2013年 | 2014年見込 | 前年比 |
|-------|---------|--------|
| 23億円 | 30億円 | 130.4% |

ヨーグルトを主原料とした冷菓であるフローズンヨーグルトを主要メニューとして販売している専門店を対象とする。アイスクリームと似た味わいでありながら、よりヘルシー感が高い点とよりさっぱりとした味が人気である。

以前から日本においてフローズンヨーグルトは、アイスクリームのバリエーション的な扱いが多く、市場は小規模な展開が多かったため、定着しなかった。現在は、上位チェーンが着実に拡大している上に、大手企業が参入してチェーン化を進めていることから、定着しつつあり、2014年には前年比30.4%増の30億円が見込まれる。

◆焼肉テーブルオーダーバイキング

| 2013年 | 2014年見込 | 前年比 |
|---------|---------|--------|
| 1,047億円 | 1,130億円 | 107.9% |

焼肉料理のうち、テーブルオーダーバイキング形式を採用している店舗を対象とする。

注文したメニューをオーダーごとで調理し、スタッフがテーブルまで運んでくるサービス形式で、かつて食べ放題の中心であった、セルフサービスのバイキングにありがちな「安かろう悪かろう」のイメージを払拭し、集客力を高めることに成功した。その結果、テーブルオーダーバイキングを採用している店舗の売上は伸び、2013年には前年比8.2%増の1,047億円となり、焼肉料理市場をけん引している。

現在は採用店舗が増加して競合は激しくなっているものの、いずれのチェーンも好調であることから、2014年の市場は前年比7.9%増の1,130億円が見込まれ、焼肉料理市場における構成比が前年の19.9%から21.3%へと、さらに高まる。

◆高価格型喫茶店・コーヒー専門店

| 2013年 | 2014年見込 | 前年比 |
|-------|---------|--------|
| 708億円 | 737億円 | 104.1% |

喫茶店・コーヒー専門店のうち、客単価が900円以上の店舗を対象とする。

手の届く贅沢を求める需要を獲得し、2013年市場は前年比7.3%の708億円となった。また、セルフサービス型のコーヒーショップよりもフルサービス型のゆったりした喫茶店・コーヒー専門店のほうが、居心地が良いと感じる消費者も増加している。

2014年も上位チェーンが急速に出店している上に、新たに郊外ロードサイドにおける需要を掘み、消費者の高い支持を集めていることから市場は拡大し、前年比4.1%増の737億円が見込まれる。

<調査対象>

| | |
|---------------|--|
| 14分野131業態 | 報告書No. 1の6分野 65業態 及びNo. 2の8分野 66業態 |
| 注目外食企業事例 40 社 | ロイヤルホールディングス、セブン&アイ・フードシステムズ、サイゼリヤ、イートアンド、日本レストランシステム、リンガーハット、コロワイド、レインズインターナショナル、モスフードサービス、くらコーポレーション、はなまる、チムニー、プレナス、大戸屋ホールディングス、日清医療食品、KRフードサービス、アークランドサービス、フジオフードシステム、コメダ、アトム、ダイナック、一蘭、ホリイフードサービス、東和フードサービス、ハブ、札幌開発、ゆで太郎システム、スイートスタイル、ペッパーフードサービス、ブロンコビリー、東京一番フーズ、ヒューマンウェブ、トマトアンドアソシエイツ、ベビーフェイス、備長、ジー・フィールド、フロレスタ、スープアンドイノベーション、ビープラウド、ジャパンフリトレ |
| 海外における外食産業 | <日系企業> モスフードサービス、アークランドサービス、トリドール <現地企業> OISHIグループ(タイ)、セントラル・レストラン・グループ(タイ) <国・地域別市場> アメリカ合衆国、中華人民共和国、香港、台湾、シンガポール、インドネシア共和国、フィリピン共和国、タイ王国、マレーシア、ベトナム社会主義共和国 |
| 注目成長市場 | フローズンヨーグルト、高価格型喫茶店・コーヒー専門店、焼肉テーブルオーダーバイキング |

<調査方法>

富士経済専門調査員による参入企業及び関連企業・団体などへのヒアリング及び関連文献調査、社内データベースを併用

<調査期間>

2014年6～8月

以上

| | |
|--------|---|
| 資料タイトル | 「外食産業マーケティング便覧2014 No. 3」 |
| 体 裁 | A4判 318頁 |
| 価 格 | 書籍版 80,000円＋税 PDF／データ版 90,000円＋税 書籍版・PDF／データ版セット 100,000円＋税 |
| 調査・編集 | 株式会社富士経済 東京マーケティング本部 第一統括部 第一部 TEL:03-3664-5821 FAX:03-3661-9514 |
| 発 行 所 | 株式会社富士経済 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町12-5 小伝馬町YSビル TEL:03-3664-5811(代) FAX:03-3661-0165 e-mail:info@fuji-keizai.co.jp この情報はホームページでもご覧いただけます。 URL: http://www.group.fuji-keizai.co.jp/ https://www.fuji-keizai.co.jp/ |